

令和5年11月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年11月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

東京・日比谷OKUROJIに開設している八戸都市圏交流プラザ「8base (エイトベース)」が今秋、開業3周年を迎えました。

コロナ禍での厳しい船出でしたが、2022年度の入込数は前年度比で倍になるなど、来店者数は好調に推移しており、今年度は9月末までの半年間で約16万5千人が来店し、前年度を上回るペースとなっております。

来店者数の好調も影響し、今年5月には過去最高の月間売り上げを記録しており、なかでもチョコQ助は、一時入荷待ちになるほど人気となりました。

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、首都圏も以前の日常が戻りつつある中、食文化の発信やファンミーティング、各種イベントを通じて、八戸圏域8市町村のより一層のPRに取り組んでいます。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸11月号 レポート

令和5年10月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	はちのへポイント 駐車券に交換可能に
(2)	種差海岸で国立公園指定10周年トレッキングツアー
(3)	全国都市問題会議 八戸で開催 各都市の共通課題 解決探る
(4)	第4期八戸市中心市街地活性化計画案 人呼ぶソフト事業に重点
(5)	八戸市公式LINEリニューアル ごみ分別案内や通報機能も
(6)	公共施設有効活用 ニーズにあわせて運営
(7)	八戸北インター工業団地用地 文明シャッター（八戸）取得 分譲率98.9% 残り1区画
(8)	八戸・魅力創生ネットワーク会議の提言 市民の声、施策に反映

## 【産業】

記事	概要
(9)	「チョコQ助」の姉妹品「白いチョコQ助」発売
(10)	八戸入港 飛鳥II見学会 豪華な船内 クルーズ気分満喫
(11)	八戸の未利用サバ カップ麺に エースコック全国で販売
(12)	JR八戸線「東北エモーション」「鉄道の日」セレモニーで節目祝う
(13)	食を通じ八戸誘客を 地元食材アレンジ料理 8base（東京）で販売へ

## 【地域】

記事	概要
(14)	松下さん（茨城出身）証券会社退職し日本酒販売に転身 八戸に念願の店オープン
(15)	青森県高校総合文化祭 八戸主会場に開催
(16)	せんべい汁研究所20年 中心街横丁体験ツアー
(17)	はちのへホコテン ハロウィンイベント 企画の高校生 達成感

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	八戸圏域山伏神楽再興委員会 組の枠を超え朝市で競演
(19)	東大生・渡邊新月さん（八戸生まれ）角川短歌賞受賞
(20)	VISITはちのへ制作 八戸三社大祭 日本の伝統まつりポスターコンクール準大賞
(21)	androp内澤さん（八戸出身）市美術館でライブ

【行政】

記事	
(1)	<p><b>はちのへポイント 駐車券に交換可能に</b></p> <p>八戸市は10月4日から、八戸圏域の交通系ICカード「ハチカ」に付与される「はちのへポイント」をまちなか共通駐車券「おんでカード」に交換できる仕組みを始めた。はちのへポイントは、市内の対象施設で入館料などの支払いにキャッシュレス決済を使用した際、ハチカを提示すると付与されるポイントで、公共施設の利用料などに利用できる。また、おんでカードは八戸中心街の加盟店で買い物すると金額に応じた駐車料金の割引券がもらえるサービスで、中心街の提携駐車場で利用可能。たまったはちのへポイントを市内に設置している交換機で操作すればおんでカードを発行できる。市は、ハチカの普及と共に、マイカーで中心街を訪れる利便性を高め、来街者の増加につなげたい考え。</p>
(2)	<p><b>種差海岸で国立公園指定10周年トレッキングツアー</b></p> <p>種差海岸の三陸復興国立公園指定10周年を記念したトレッキングツアーが10月7日、「みちのく潮風トレイル」に組み込まれた種差海岸の一部コースで開かれた。ツアーには定員60名に対し、市内外から約300人の応募があり、アウトドアブームやトレッキングイベントの人気ぶりを裏付けた。また、当日は何度も八戸市を訪れているという俳優の市毛良枝さんがゲストで参加。参加者は市毛さんとの会話を楽しみながら散策し、秋が深まりつつある種差海岸の魅力を満喫した。</p>
(3)	<p><b>全国都市問題会議 八戸で開催 各都市の共通課題 解決探る</b></p> <p>全国市長会などが主催する第85回全国都市問題会議が10月12、13日の2日間、八戸市で開催された。同市では初開催で、全国の市長や議員、自治体関係者ら約1800人が参加。「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマに講演や活動報告を行い、まちづくりの可能性を探った。初日は、アーティストで東京藝術大学長の日比野克彦氏による基調講演や、熊谷八戸市長の取り組み報告などが行われ、2日目はパネルディスカッションや行政視察などがあつた。会議に合わせて会場近くの市庁前広場には、八戸三社大祭の山車が2台展示されたほか、中心街では多彩なイベントが企画され八戸の文化や魅力を発信した。</p>
(4)	<p><b>第4期八戸市中心市街地活性化計画案 人呼ぶソフト事業に重点</b></p> <p>八戸市は、第4期八戸市中心市街地活性化基本計画（2024年4月～29年3月）の素案を公表した。目指す都市像を「人の活動と交流が生まれる街 未来を創る人材が生まれる街～次世代に繋ぐ中心市街地～」とし、基本方針に①ウォーカブルな街づくり②未来をつくる経済活動が生まれる街づくり③暮らすことが楽しくなる街づくりを掲げている。これまで「はっち」、八戸ブックセンターなど公共施設整備を核としてきたが、第4期はこれらの施設を活用しつつ、人々を街に呼び込むソフト事業に重点を置いた。歩きたくなる街路づくりを進める「中心街ストリートデザイン事業」、市街地の玄関口としての「本八戸駅通り地区街並み環境整備事業」など全67事業。今後、パブリックコメントを実施し、年度内の国の認定を目指す。</p>
(5)	<p><b>八戸市公式LINEリニューアル ごみ分別案内や通報機能も</b></p> <p>八戸市は10月20日、公式LINE（ライン）アカウントをリニューアルした。メニュー画面は大きく「メイン」「暮らし」「防災」の三つに分類。バス停や施設の検索、ごみの分別案内、道路や遊具の異常を通報できる機能なども搭載し、必要な情報にたどり着きやすいデザインになっている。八戸市安全・安心情報メール（通称ほっとスルメール）もLINEで受け取れ、イベントの情報へのアクセスも簡単に行える。市は人口の約1割に当たる2万人の登録を目指す。</p>

(6)	<p><b>公共施設有効活用 ニーズにあわせて運営</b></p> <p>八戸市は10月20日、公共施設の有効利用について、市民ニーズに沿った施設運営や分かりやすい情報発信などに取り組む方針を示した。公共施設の有効活用は、市長が掲げた政策公約の一つで、本年度市民ニーズを把握するアンケートを実施している。主要8施設について「十分満足」「まあまあ満足」と答えた割合の平均は63%だった一方、「普段利用しない」との回答も一定数あった。熊谷市長は、アンケート結果を踏まえた取組の推進とともに、市民と情報を共有し、施設の有効利用による費用対効果向上と公共施設への理解の深化に努めると意欲を述べた。</p>
(7)	<p><b>八戸北インター工業団地用地 文明シャッター (八戸) 取得 分譲率98.9% 残り1区画</b></p> <p>八戸市は、八戸北インター工業団地の1509平方メートルをシャッターやスチールドアの製造販売などを手がける「文明シャッター」(同市)に分譲すると明らかにした。同団地は、1990年の造成以来、金属加工などの誘致企業が進出し、製造業を中心に立地が進んだ。高台に位置しており、津波による被災の可能性が低く、東日本大震災以降も企業の進出が続いている。今回の用地売却で同団地の分譲率は98.9%に達し、残りは1区画となった。市は同団地南側に八戸北インター第2工業団地の開発をすすめており、2024年度からの分譲開始を目指す。</p>
(8)	<p><b>八戸・魅力創生ネットワーク会議の提言 市民の声、施策に反映</b></p> <p>若者や女性が魅力を感じられるまちづくりの実現を目指して、八戸市が立ち上げた「市まちの魅力創生ネットワーク会議」と市職員の意見交換会が10月24日に開催された。同会議は、市長の政策公約事業で、本年度はこども主体のまちづくりや職業体験など12項目の政策提言をしている。今回は、子どもたち自身がインターネットを活用し情報発信できる環境をつくる「こどもまちなかIT部(仮称)」や「はっち」の一日館長体験など9事業について検討。市民感覚を取り入れた施策実現に向け議論を深めた。</p>

【産業】

記事	概要
(9)	<p><b>「チョコQ助」の姉妹品「白いチョコQ助」発売</b></p> <p>八戸市の菓子製造販売「しんぼり」は、南部せんべいとチョコレートを組み合わせた人気商品「チョコQ助」の姉妹品として「白いチョコQ助」を発売した。2021年の発売以来、SNSなどで話題となり、店頭で売り切れ続出の大人気商品のチョコQ助の姉妹品は、構想から1年以上を経て完成。濃厚なホワイトチョコをバター風味のせんべいが強調する味わいが特徴。同社では今年3月、新工場が稼働しており、今後さらに生産量を増やす考え。</p>
(10)	<p><b>八戸入港 飛鳥II見学会 豪華な船内 クルーズ気分満喫</b></p> <p>郵船クルーズ(横浜市)の大型客船「飛鳥II」(総トン数5万444トン、定員872人)が10月12日、八戸港に寄港した。飛鳥IIの入港は今年3回目、クルーズ船を身近に感じてもらうと青森県が市民らを対象にした船内見学会を企画。参加者は、ショーが行われるギャラクシーラウンジや映画をみるシアター、ダンスホールや屋外のプールなど、国内最大を誇る客船の豪華な船内を見学しクルーズ気分を満喫した。一方、乗船客は寄港中、種差海岸や奥入瀬溪流、八戸市内の国宝や文化財を巡るオプションツアーなどに参加した。</p>

<p>(11)</p>	<p><b>八戸の未利用サバ カップ麺に エースコック全国で販売</b></p> <p>即席麺大手のエースコック（大阪府）は、八戸港で水揚げされた未利用魚のサバを使ったカップ麺を開発し、全国販売を始めた。同社は、国が推進する食品ロス削減国民運動に賛同し「もったいないをおいしさに」をスローガンに、昨年10月から未利用食材を活用したカップ麺を開発している。第3弾の今回は「陸奥の鯖だしラーメン」と銘打ち、食用として利用されにくい小さなサバ、合わせて約1万トンを有効活用する見込み。味は、しょうゆとみその2種類でサバを丸ごとエキス化し、香りや風味が楽しめる一杯に仕上げている。</p>
<p>(12)</p>	<p><b>JR八戸線「東北エモーション」「鉄道の日」セレモニーで節目祝う</b></p> <p>JR八戸線のレストラン列車「TOHOKU EMOTION」は10月19日で運行開始10周年を迎え、八戸駅でセレモニーが行われた。完全予約制のフルコースが楽しめる「移動するレストラン」として、これまでに週末を中心に延べ約3,000本が運行され、乗客約9万人が絶品料理と種差海岸や太平洋の大海原といった車窓からの景色を堪能してきた。セレモニーでは、JR東日本盛岡支社や八戸市などの観光関係者らが10周年記念ケーキなどで気持ちを新たに節目の年を祝った。</p>
<p>(13)</p>	<p><b>食を通じ八戸誘客を 地元食材アレンジ料理 8base（東京）で販売へ</b></p> <p>VISITはちのへは、食の魅力を活用して人流促進などを図る「食のまち八戸プロモーション事業」を展開している。昨年度から東京・内幸町の八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」の来店客らにアンケートを行い、首都圏在住者の地元食材への評価などを調査してきた。今年10月23日には、八戸にゆかりのある都内の飲食店関係者らを招いたアレンジメニューに関する座談会を開き、意見交換を実施した。実際に料理を試食し、評価の高かった地元食材をアレンジしたメニューを11月下旬ごろから同店でテスト販売する予定。VISITはちのへは来年度から首都圏の複数店舗でもアレンジメニューを展開したい考え。</p>

【地域】

記事	概要
<p>(14)</p>	<p><b>松下さん（茨城出身）証券会社退職し日本酒販売に転身 八戸に念願の店オープン</b></p> <p>松下真之助さん（茨城出身）は、八戸市堤町に日本酒販売を手がける「ひろがる酒店」をオープンした。東京に本社を置く大手証券会社で働いていた際、2009年から11年間八戸の事務所に勤務。日本酒好きが高じて会社を退職し、八戸出身の妻の亜紀子さんと念願だった店を始めた。店内では西日本を中心に14蔵元の約70種類を取り扱い、角打ちや少量の量り売りで飲み比べなどができる店にした。8月のオープンからリピーターも徐々に増え、今後は蔵元と連携したイベント開催やネット販売などでの知名度向上も図る。</p>
<p>(15)</p>	<p><b>青森県高校総合文化祭 八戸主会場に開催</b></p> <p>青森県内の高校生による芸術・文化の祭典「第44回青森県高校総合文化祭」が10月6日～29日まで、八戸市を主会場に開催された。毎年開催される高校生による県内最大規模の芸術・文化の祭典で、今年は「開こう 明日への扉 築こう 未来のカタチ」の大会テーマのもと、約4千人の高校生が、八戸市、おいらせ町、弘前市、青森市で演劇や合唱など全19部門を行った。本大会は、来年度の第48回全国高等学校総合文化祭（岐阜大会）出場に向けた予選会を兼ねている部門も多く、生徒たちはこれまで培った力を存分に発揮した。</p>

(16)	<p><b>せんべい汁研究所20年 中心街横丁体験ツアー</b></p> <p>設立20周年を迎える、八戸せんべい汁研究所（通称・汁研）が、八戸市内のゲストハウス「トセノイエ」に滞在する観光客を対象に、南部せんべいなどの文化と市中心街の横丁を深く体験してもらうツアーを新たに仕掛ける。体験を通して八戸のファンを増やしリピーターになってもらうのが狙い。本番に先立ち、10月6日に地元の観光関係者6人を観光客役としたモニターツアーを実施した。各飲食店ではせんべいにまつわるイベントなども用意し、飲食店を「はしご酒」する傍ら、街中の歴史や名所などを紹介した。</p>
(17)	<p><b>はちのへほコテン ハロウィンイベント 企画の高校生 達成感</b></p> <p>八戸市中心街のメインストリートなどを歩行者天国にする「はちのへほコテン」が10月22日に開催され、本年度最後となったこの日は、高校生主体の企画「ハロウィン ハイスクール ON SUNDAY」が初めて実施された。高校生企画を主導したのは青森県立八戸高、八戸東高、千葉学園の3校。生徒らは7月の初会合でアイデアを出し合い、各校で準備を進めてきた。八戸東高による書道パフォーマンスや、八戸高のダンスなど多彩なイベントや出店が会場を盛りあげ、来場者は高校生のアイデアに富んだパフォーマンスや出店を楽しんだ。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p><b>八戸圏域山伏神楽再興委員会 組の粋超え朝市で競演</b></p> <p>八戸市の鮫、白銀四頭権現、市川の3神楽で構成する、八戸圏域山伏神楽再興委員会による初イベント「朝市神楽」が10月1日、館鼻岸壁朝市で開かれた。3神楽の獅子頭を並べ、畳を敷いた特設スペースでは、「翁舞」や「浦島太郎」「剣舞」などが披露された。午前6時から約1時間半の公演を最後まで鑑賞した人も多く、笛や太鼓、手平鉦に誘われて市民や観光客が人垣を作り、力強くもユーモアにあふれた舞を堪能した。</p>
(19)	<p><b>東大生・渡邊新月さん（八戸生まれ） 角川短歌賞受賞</b></p> <p>歌壇で最も権威のある新人賞「第69回角川短歌賞」に、八戸市生まれで茨城県出身の東京大生・渡邊新月（しんげつ）さんの「楚樹（しもと）」150首が選ばれた。渡邊さんは、中学生の頃に短歌を始め、基本、作品集を読み込むことで実力をつけ、現在は東京大で古典文学を学びながらその鋭い感性を磨き続けている。これまで角川短歌賞では第64回、68回で佳作となったほか、新人賞の「第2回笹井宏之賞」では野口あや子賞を受賞している。今後も、よりよい一首を目指し、渡邊さんの創作活動は続く。</p>
(20)	<p><b>VISITはちのへ制作 八戸三社大祭 日本の伝統まつりポスターコンクール準大賞</b></p> <p>全国で開催されている伝統あるまつりのポスターを一堂に集め、それぞれのまつりの相互理解と交流を深めるため開催される「第11回日本の伝統まつりポスターコンクール」でVISITはちのへが制作した八戸三社大祭のポスターが準大賞に輝いた。今回は、31道府県から69点が出品され、大賞1点、準大賞2点、優秀賞5点選ばれた。八戸三社大祭のポスター入賞は2012年の大賞以来で、今回は夜明けをイメージし、コロナ禍からの復活を表現した。</p>
(21)	<p><b>androp内澤さん（八戸出身）市美術館でライブ</b></p> <p>八戸市出身で人気ロックバンド「androp（アンドロップ）」のボーカルを務める内澤崇仁さんが10月28日、市美術館のジャイアントルームで弾き語りライブを行った。内澤さんは故郷の情景をモチーフに作った曲など約20曲を演奏した。内澤さんと親交がある大宮エリーさんもゲスト出演し、演奏をバックにライブペインティングを披露。内澤さんは「夢がかなった瞬間。皆さんに八戸のことを知ってもらえて幸せだった」としみじみ語り、観客からは温かな拍手が送られた。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### 1 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### 2 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### 3 お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



### 送付先

#### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。